



新年あけましておめでと  
うございます。

皆様におかれましては、ご  
家族様ともども健やかに新  
春をお迎えのこととお喜び申  
し上げます。

今年、千支順位表六十  
番中、三十九番目にあたる  
壬寅(みずのえとら)で、寅は  
千里の道を駆けることから勢  
いが盛んであることや冬の終  
わりとともに芽吹き始め新し  
い生命の礎となる年とも言わ  
れております。

これまで二年間に亘るコロナ  
禍で臨時休館をはじめイベン  
トの中止や事業の縮小を余  
儀なくされて参りました。

令和三年のサラリーマン川  
柳に「コロナ菌おまえのおか  
げで全てチャラ」というのがあ

# 夕鶴の里資料館報

令和4年1月10日  
第 133号  
発行 夕鶴の里  
TEL 47-5800

ったそうですが、こんなことを  
いつまでも容認できるものでは  
ありません。幸い、ワクチン接  
種の素早い対応により、本市  
での感染者は九月十四日以  
降確認されていない状況にあ  
るようです。

このような状況に鑑み、観  
知を結集しながら、今年こそ  
はコロナ禍を克服し輝かしい  
年となるよう願うばかりです。

夕鶴の里も平成五年のオー  
プン以来、二十九年目を迎  
えることになり、既に四十万  
人を超える入館者となってお  
ります。

りませんが、コロナ禍によりこれ  
からは以前のような大型バス  
を何台も連ねて来館される  
団体のお客様を呼び込めるこ  
とは困難であります。

が、少人数のグループやご家族で来館  
されるお客様に「見る・聞

く・体験する」のキーワード  
を基に悠久の遙か昔から  
永々と受け継がれてきた歴  
史や地域の伝統文化を昔話  
や民話を通じて子どもからお  
年寄りまで老若男女を問わ  
ず幅広く楽しみ親しんでいた  
だけの生涯学習施設となる  
よう職員一同一丸となって  
取り組んでまいりますので、こ  
れまでと同様にご指導ご支  
援賜りますようお願い申し上  
げ新年のご挨拶といたします。

夕鶴の里  
館長 高橋大吉



**南陽高校  
市役所部来館！**

一月四日(火)に南陽高  
校市役所部が来館されまし  
た。機織り体験や民話口演、  
資料館見学の様子をSNSで  
発信していただきました。

来館の様子は南陽高校市役所部のインスタグラムで見ることが出来ます。

特別展

「印刷された近代展」開催中

時は大正、ロマンの時世

前回は明治時代のお話でしたので、今回は大正時代のお話をご紹介しますと思います。

大正時代になると全国的に鉄道の整備が進みます。大正天皇も鉄道が大好きで鉄道整備の政策を推進した原敬を話し相手にするなど信頼していました。

ご紹介する『汽車の窓からは著者が鉄道院運輸局に勤務する谷口梨花という女性で、この方は余暇に全国ほとんどの路線の鉄道に乗車し、そのルポタージュとしてこの本を執筆しています。大正八年初版で大正十三年には二十八刷まで部数を伸ばしていますので、相当売れたのだと思います。この著者は南陽市にも訪れています。彼女は奥羽本線の赤湯駅で下車し、赤湯温泉に一泊しました。

「名高い赤湯温泉は右窓十六町あまり離れ烏帽子山の麓に湧き出している。大湯、丹波湯、甘湯、森ノ湯、夫に近年鑽井工事の際、俄然噴

出した新湯もある。

私は其處で丹波館に泊まった。烏帽子山の懸崖を庭園とした居心地の好い宿であった。浴室の設備も整っていた。冷瑠玉の如き綺麗な湯に浸った心地は何とも言えぬものがあつた。

赤湯の散策地は烏帽子山と白龍湖である。丘上には縣社の八幡神社があり、賽路の左右は櫻樹数千株、山形県下第一の桜の名所たるいわゆる偕樂園で、春は満山花の白雲に彩られるのである。赤湯散策の後、著者は長井軽便鐵道、今のフラワー長井線で長井へ向かいました。

「赤湯を出ると汽車は西北を目指して宮内町に行く。製絲工場が多い。町の北慶海山は今雙松公園と言って展望のいい處だ。其の麓に維盛が熊野から遁て来て建てたという熊野神社がある。(注 異説で熊野大社には平安時代に平維盛が創建した説があります)宮内町から汽車は右に高鳥山を仰ぎつつ梨郷を経て松川を渡り西大塚に行く」この他にも山形県各地を巡り、自分の見た範囲ではあり

ますが各地の様子が記されています。鉄道が発達し全国どこへでも行ける時代。そして、生活の為だけでなく余暇としての旅行を楽しめるようになった時代が大正時代でした。



「縣社 熊野神社」昭和初期の熊野大社

参考文献

『汽車の窓から』

◆ 次回展示 ◆

夕鶴のひな飾り展

令和四年二月一日(火)～

五月八日(日)



新たに設置しました

語り部ホールに「本日の語り部」を新たに設置しました。語り部さんのお名前を覚えていただければと思います。



昔のあそび

折り紙ではしぶくろを作ろう！

日にち：1月22日(土)

時間：10時～

場所：夕鶴の里

参加費：無料

定員：10名(要予約)

問合せ：夕鶴の里 47-5800

※定員になり次第受付を終了します。

☆マスクの着用をお願いします。

